

学校と地域の協働実践セミナー 西北地区研修会

平成27年7月10日(水) 板柳町交流センター あぶる 参加者23名

学校と地域の協働実践セミナー西北地区研修会が、7月10日(水)板柳町交流センター あぶるで開催されました。今回は講師に五所川原市立栄小学校 前校長 近藤 徹 氏をお迎えして、「地域で支える子どもの育ち」と題して、栄小学校での実践についての講義及び演習を行いました。

近藤氏からは、栄小学校などで行われた活動の紹介や学校側とボランティア・コーディネーターが、よりよい関係作りを進めるためにはどのようなことに配慮すべきかなどについて講義していただきました。



学校教育における具体的な支援について

- 確かな学力の向上を図る取り組み・・・九九支援、音読支援、学校探検支援
- 健康と体力の増進を図る取り組み・・・スキー学習支援、水泳学習支援、給食支援（低学年）
- 豊かな心を育てる取り組み・・・お話し会（学級・学年・低中高・学校単位で）、老人ホーム慰問
- 安全確保と健全育成を推進を図る取り組み・・・朝の挨拶運動、交通安全見守り隊、町探検支援、下校指導

学校とボランティア・コーディネーターがより良い関係をつくるために

〈学校側〉

- ・家庭や地域の教育力の必要性を明確にしたビジョンを示す
- ・家庭や地域の教育力の重要性を理解し、意識改革や意識のギャップを埋める場を見いだす。
- ・教育効果を上げるためにはどのような支援が必要なのかを明確にし、協力を仰ぐ。

〈ボランティア・コーディネーター〉

- ・校長、教頭、教諭との関係作り
- ・子どもたちとの関係作り及び児童理解
- ・登録者との調整
- ・企画運営会議等の実施及び各研修会への参加



〈参加者のアンケート〉

- ・何となくPTAとしてボランティアに参加していましたが、学校・先生方が何を必要としているのかがよくわかりました。
- ・コーディネーターの方々の活動がよくわかりました。何事もチームワークが大切だと思いました。
- ・他校のよい活動について大変参考になりました。我が校でもよいことはどんどん取り入れていきたいと思えます。

〈講師紹介〉



近藤 徹 氏（五所川原市立栄小学校 前校長 学校支援ボランティア）
2010年 鶴田町立富士見小学校校長
2012年 五所川原市立栄小学校（2014年3月定年退職）
栄小学校在職中には、平成24年度優れた「地域による学校支援活動」を受賞